

# さんだ防災強化プログラム

災害に強い“さんだ”の実現に向けて

(令和4年度～令和8年度)

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT GOALS

11 住み続けられる  
まちづくりを



令和4年1月

三田市

## 1 はじめに

南海トラフ地震は今後 30 年以内で 70～80% の高い確率で発生するとされ、内陸直下型地震の発生も危惧されているところです。

また、平成 30 年 7 月豪雨をはじめ、令和元年 9 月・10 月の台風、令和 2 年 7 月豪雨、そして、令和 3 年 8 月 11 日～19 日にかけての長期にわたる大雨など、近年、台風や豪雨が頻発化、激甚化、局所化しており、毎年全国各地で甚大な被害が発生しています。

一方、本市では、これまで大災害に見舞われることがなく、職員においても防災意識の希薄化や災害対応力の低下が懸念されます。

自然災害は、いつどこで起こってもおかしくなく、本市においても危機が迫っています。阪神・淡路大震災から 27 年目にあたり、今一度、地震の恐ろしさを再認識するとともに、次なる災害に立ち向かい備えるために、自助・共助を支える公助を強化し、今後 5 年間に集中的に取り組む「さんだ防災強化プログラム」を策定するものです。

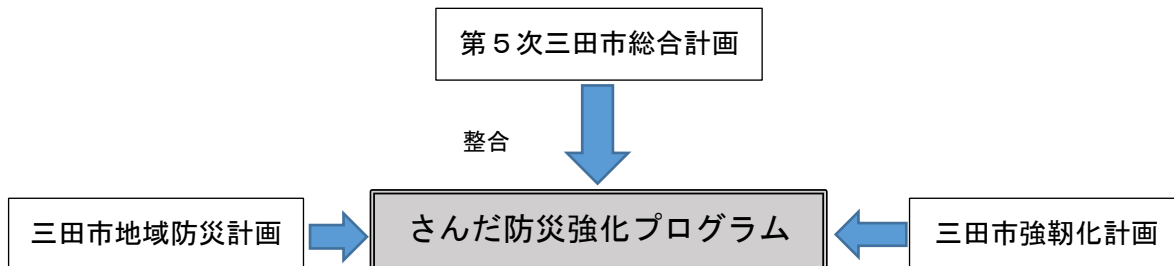
### ➤ 取組目標

台風などによる洪水、土砂崩れ、暴風に係る災害については、その規模や発生時期がある程度予測できることから、早期の避難情報の発信など必要対策を講じ被害を軽減することができます。市民の適切な避難行動を促進し、風水害から逃げ遅れゼロを目指すとともに、地震の備えとして公助の取組みを強化し、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち」の実現を図ります。

## 災害に強いまち”さんだ”の実現

### ➤ プログラムの位置づけ

本プログラムは、三田市総合計画、三田市地域防災計画、三田市強靱化計画との整合を図りながら進めます。



### ➤取組期間

令和4年度（2022）～令和8年度（2026）までの5年間とし、第5次三田市総合計画との整合を図り、重点的かつ集中的に取り組みます。

また、毎年度、進捗状況や達成度の評価を行い、見直し改善につなげプログラムの着実な推進を図ります。








## 2 強化プログラム



### （1）災害に強い都市基盤の強化


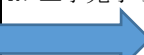

| ① 住宅の耐震診断・耐震改修工事の支援   |                                      |              |              |                   |              |
|---|--------------------------------------|--------------|--------------|-------------------|--------------|
| <p>R2年度の市内全体の住宅における耐震化率は94.6%となっていますが、1981年5月以前に旧耐震基準で建てられた住宅が存在する既成市街地や農村部では87.7%にとどまっています。</p> <p>三田市耐震促進計画（H28～R7）では、国の基本方針及び兵庫県耐震改修促進計画に基づきR7年度で住宅の耐震化率を97.0%に目標値を定めていることから、今後の大規模地震に備え、既成市街地及び農村部における住宅の耐震化を更に促進するため、引き続き、無料で簡易耐震診断を実施するとともに、耐震改修工事の支援を行います。</p> |                                      |              |              |                   |              |
|   | R4<br>(2022)                         | R5<br>(2023) | R6<br>(2024) | R7<br>(2025)      | R8<br>(2026) |
| 住宅の簡易耐震診断の実施  |                                      |              |              |                   |              |
| 既成市街地及び農村部の住宅の耐震改修工事の支援   | R2 市内全体耐震化率 94.6%<br>(内既成市街地等 87.7%) |              |              | R7 市内全体耐震化率 97.0% |              |
|   |                                      |              |              |                   |              |




| ② 緊急輸送道路における橋梁の耐震化   |              |              |              |              |              |
|--|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| <p>災害時に緊急車両・物資の輸送ルートを確保するため、緊急輸送道路（市道北摂中央3号線）における橋梁（えるむ橋）の耐震補強を進めます。</p> |              |              |              |              |              |
|  | R4<br>(2022) | R5<br>(2023) | R6<br>(2024) | R7<br>(2025) | R8<br>(2026) |
| えるむ橋耐震補強工事   | H29 工事着手     |              |              | R8           | 工事完了予定       |
|  |              |              |              |              |              |

凡例  
 整備の実施：  
 運用の実施：






| ③ 既成市街地の浸水対策の推進  |  |  |  |   |   |
|--|--|--|--|---|---|
| <p>㊦既成市街地内における用排水路の分離</p> <p>豪雨による雨水を速やかに排水し浸水から街を守るため、どんとゲート上流の用排水路の分離を行います。</p> <p>㊧浸水被害発生区域における雨水排水施設の整備</p> <p>過去に浸水被害が発生した区域（八景町 1.5ha）において、雨水排水管を整備し浸水対策を進めます。</p> |  |  |  |   |   |
|  | R4<br>(2022)   | R5<br>(2023)   | R6<br>(2024)   | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
| ㊦用排水路の分離<br>(どんとゲート上流用排水路)   | R4 工事予定<br> | R5 運用開始<br>   |  |                |  |
| ㊧雨水排水施設整備<br>(八景町 1.5ha)   |  | R5 調査・設計<br> | R7 工事着手予定<br> | R10 工事完了予定<br> |   |






| ④ 市街地再開発事業の推進  |              |   |              |   |              |
|--|--------------|---|--------------|---|--------------|
| <p>駅周辺の既成市街地において、土地の有効利用により建物の不燃化や公共空間を整備し、都市機能や居住環境を改善するため、三田駅前Cブロック地区市街地再開発事業を推進します。</p> |              |   |              |   |              |
|  | R4<br>(2022) | R5<br>(2023)  | R6<br>(2024) | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026) |
| 三田駅前Cブロック地区市街地再開発事業  |              | R5 工事着手予定<br> |              | R8 工事完了予定<br> |              |






| ⑤ 長時間停電時の給水拠点の整備   |   |              |              |  |  |
|--|---|--------------|--------------|--|--|
| <p>災害時の長時間停電により断水した場合、速やかに応急給水拠点及び避難所での給水を可能とするため、加圧所及び浄水場に非常用電源引込盤を設置します。</p> |   |              |              |  |  |
|  | R4<br>(2022)  | R5<br>(2023) | R6<br>(2024) | R7<br>(2025)   | R8<br>(2026)   |
| 水道施設の非常用電源引込盤の設置（加圧施設 2 箇所・浄水場 3 箇所）   | R4 工事着手予定<br> |              |              | R7 工事完了予定<br> | R8 運用<br> |



凡例  
 整備の実施：   
 運用の実施：

## (2) 災害時情報の発信の拡充

| ⑥ 災害情報の発信手段の多様化  |  |   |   |   |   |
|--|--|---|---|---|---|
| 防災行線無線は、豪雨時に屋内では聞き取りづらいため、従来の防災・防犯メール、エリアメール配信に加え、デジタル技術を活用した SNS による PUSH 型の災害情報を発信します。 |  |   |   |   |   |
|  | R4<br>(2022)   | R5<br>(2023)  | R6<br>(2024)  | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
| SNS を活用した情報発信  | R3 運用開始<br> |  |  |  |  |

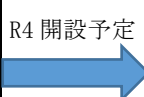

| ⑦ 災害時の交通情報・ライフライン状況の配信サービスの開始   |  |   |   |   |   |
|---|--|---|---|---|---|
| 災害時による道路の規制情報、鉄道、バスの遅延・運休情報などの交通状況のほか、上下水道・電気・ガスなどのライフラインの被災状況や復旧状況をホームページでの掲載をはじめ、防災・防犯メール及び SNS で配信します。 |  |   |   |   |   |
|   | R4<br>(2022)   | R5<br>(2023)  | R6<br>(2024)  | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
| 災害時交通情報配信・ライフライン状況の配信サービス   | R3 運用開始<br> |  |  |  |  |

| ⑧ 一斉配信システムの導入  |   |   |   |   |   |
|--|---|---|---|---|---|
| 多くの市民や区・自治会長が迅速かつ確実に災害情報を受け取れるようにするため、防災行政無線、防災・防犯メール、SNS 等に同時配信できる一斉配信システムの導入を図ります。 |   |   |   |   |   |
|  | R4<br>(2022)  | R5<br>(2023)  | R6<br>(2024)  | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
| 一斉配信システムの導入  | R4 導入・運用開始予定<br> |  |  |  |  |

|  |
|--|
| 凡例   |
| 整備の実施：  |
| 運用の実施：  |

⑨ 防災ポータルサイトの開設

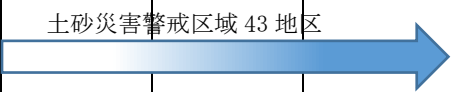
市民が必要とする情報を PULL 型で容易に入手できるようにするため、ホームページ内に、災害・防災に関する市及びライフライン等の関係機関の情報を一元化し、「平時から知っておくべき情報」と「災害時に見るべき情報」をわかりやすく整理した防災ポータルサイトを開設します。





|              | R4<br>(2022)   | R5<br>(2023)   | R6<br>(2024) | R7<br>(2025) | R8<br>(2026) |
|--------------|--|--|--------------|--------------|--------------|
| 防災ポータルサイトの開設 | R4 開設予定<br> | 順次サイトを充実<br> |              |              |              |

(3) 避難行動の支援及び適切な避難所運営の推進

⑩ 個別支援計画（個別避難計画）の作成

災害時要支援者の避難支援を推進するため、災害危険区域内の要支援者約 600 人から優先的に個別支援計画（個別避難計画）を作成します。作成には防災と福祉、地域との連携が不可欠であることから、防災・福祉部局からなるプロジェクトチームにより取り組みます。また、支援者の負担を軽減するため、ボランティア保険料の助成を行います。

|                          | R4<br>(2022)   | R5<br>(2023) | R6<br>(2024) | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026) |
|--------------------------|--|--------------|--------------|---|--------------|
| 個別支援計画（個別避難計画）の策定(75 地区) | 土砂災害警戒区域 43 地区<br> |              |              | 洪水浸水想定区域 32 地区<br> |              |

凡例  
 整備の実施：   
 運用の実施： 

⑪ 避難所の役割を担う体育館の空調設備の整備と指定避難所となる小中学校トイレの洋式化の推進

㊦ 避難所の役割を担う体育館の空調設備の整備

指定避難所となる市内体育館において、真夏の猛暑日や冬の厳しい寒さにおいても、被災者が健康不安を抱えることなく避難生活が送れるよう、体育館の空調設備の整備を推進します。なお、小中学校の体育館については、現在進めている小中学校の再編計画に考慮しつつ進めます。

㊧ 指定避難所となる小中学校トイレの洋式化




和式トイレは、使い慣れない子どもや足腰に不安がある高齢者には使用をためらい健康被害をもたらし、避難所生活に支障をきたす恐れもあるため、指定避難所となる小中学校のトイレの洋式化を進めます。

|                        | R4<br>(2022) | R5<br>(2023) | R6<br>(2024) | R7<br>(2025) | R8<br>(2026) |
|------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ㊦ 避難所の役割を担う体育館の空調設備の整備 | 整備に向けた検討     |              | R6～順次実施検討    |              |              |
| ㊧ 小中学校トイレの洋式化          | R4～順次実施予定    |              |              |              |              |

⑫ 指定避難所標識の設置

平常時から市民センター・学校等が指定避難所であることを周知し、災害時に迅速な避難が図れるようにするため、指定避難所 37 箇所に避難所標識及び避難所誘導標識の設置を進めます。

|                                | R4<br>(2022) | R5<br>(2023) | R6<br>(2024) | R7<br>(2025) | R8<br>(2026) |
|--------------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 避難所標識・避難所誘導標識の設置 (37 箇所の指定避難所) | R4 事業着手予定    |              | R6 事業完了予定    |              |              |

凡例  
 整備の実施：    
 運用の実施： 

⑬ マンホールトイレの整備の推進

大規模災害時にトイレの使用不能や不足、環境の悪化が懸念されるため、各市民センター及び小学校など 14 箇所の指定避難所に災害用マンホールトイレの整備を進めます。

|                              | R4<br>(2022)  | R5<br>(2023) | R6<br>(2024) | R7<br>(2025) | R8<br>(2026) |
|------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| マンホールトイレの整備<br>(14 箇所の指定避難所) | R3 現在 4 箇所整備済 |              |              |              | R8 14 箇所整備予定 |

⑭ 多様なニーズに配慮した避難所運営の推進

㊦ 避難所の環境整備

男女共同参画の視点やジェンダーなど多様性に配慮し女性用更衣室・母子スペースの確保など避難所の環境整備をはかります。

㊧ 避難所マニュアルの改訂と避難所運営訓練の実施

外国人避難やペット同行避難など多様なニーズに配慮した避難所運営を図るため、避難所運営マニュアルを改定するとともに、改定マニュアルに準じた避難所運営訓練を実施します。また、新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営を行います。






|                             | R4<br>(2022) | R5<br>(2023) | R6<br>(2024) | R7<br>(2025) | R8<br>(2026) |
|-----------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| ㊦ 避難所の環境整備                  | 整備計画策定       |              | R5～順次整備      |              |              |
| ㊧ 避難所運営マニュアルの改訂と<br>避難所運営訓練 | マニュアル        | 改訂           | R5～避難所訓練の実施  |              |              |






凡例






整備の実施：





運用の実施：



| ⑮ 避難所情報の可視化の推進  |   |  |   |   |   |
|---|---|--|---|---|---|
| 避難所生活への備えや分散避難を促進するため、市の防災備蓄品をオープンデータ化することにより家庭で必要な防災備蓄品の啓発を行います。また、SNS、ポータルサイトにより避難所の混雑状況を配信することで避難所情報の可視化を図ります。 |   |  |   |   |   |
|   | R4<br>(2022)  | R5<br>(2023)   | R6<br>(2024)  | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
| 避難所情報の可視化の推進  | R3 SNS 配信開始   | R4 ポータルサイト掲載開始   |   |   |   |
|   |  |  |  |  |  |






| ⑯ 福祉避難所運営の見直し   |   |  |   |   |   |
|---|---|--|---|---|---|
| 改正災害対策基本法施行規則に基づく「福祉避難所の確保・運営ガイドライン」が改正されたことより、高齢者や障害者らが自宅から直接福祉避難所に避難できる仕組みを確立するため、市が指定している福祉避難所（5箇所）との協議を行い、訓練を実施します。 |   |  |   |   |   |
|   | R4<br>(2022)  | R5<br>(2023)   | R6<br>(2024)  | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
| 福祉避難所運営の見直し<br>(5箇所)  | 運営協議  | R4～福祉避難所訓練の実施  |   |   |   |
|   |  |  |  |  |  |

| ⑰ 災害時電源供給に関する協定の推進  |   |  |   |   |   |
|---|---|--|---|---|---|
| 災害時に大規模停電が発生した場合、避難所での電源確保として、ポータブル発電機の備蓄を充実させるとともに、電気自動車などを非常用電源として活用するため、民間事業所等と災害時における電源供給協定の締結を推進します。 |   |  |   |   |   |
|   | R4<br>(2022)  | R5<br>(2023)   | R6<br>(2024)  | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
| 災害時電源供給に関する協定   | R4 協議・協定締結  | R5～災害時協定運用   |   |   |   |
|   |  |  |  |  |  |

凡例  
 整備の実施    
 運用の実施  

⑱ 自助・共助への取組み支援






自主防災組織がない地域において、自主防災組織設立に向けた検討会・勉強会への講師派遣等の支援を行います。市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、防災士の資格取得補助金制度を創設します。また、自主防災組織と消防署や消防団の連携関係を構築するため、合同訓練実施の強化を図ります。

|              | R4<br>(2022)  | R5<br>(2023)   | R6<br>(2024)   | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
|--------------|---|--|--|---|---|
| 自助・共助への取組み支援 | R4 防災士補助制度創設<br> | 自主防災組織・<br> | 消防署・消防団<br> | 合同訓練<br> |  |

(4) 市役所の危機管理体制の強化






⑲ さんだ版タイムラインの策定



発災時に、地域防災計画に基づき、各班（部署）が的確かつ円滑な対応ができる体制により被害を最小限に抑えることができるよう、職員の具体的な行動を時系列に示した「さんだ版タイムライン」を策定します。

|               | R4<br>(2022)   | R5<br>(2023)   | R6<br>(2024)   | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
|---------------|--|--|--|---|---|
| さんだ版タイムラインの策定 | R4 策定<br> | 運用・<br> | 必要に応じて見直し<br> |  |  |

⑳ 災害時受援計画の策定

大規模災害時には、行政能力をはるかに超える対応に迫られ、国、県、自衛隊、周辺自治体、災害応援協定締結事業者、ボランティア等から人的・物的応援が必要となります。受援に係る指揮系統を明確にし、災害時の外部応援を円滑に受け入れるため、「三田市災害時受援計画」を策定するとともに受援訓練を実施します。



|               | R4<br>(2022)   | R5<br>(2023)  | R6<br>(2024)  | R7<br>(2025)  | R8<br>(2026)  |
|---------------|--|---|---|---|---|
| 災害時受援計画の策定・訓練 | 計画策定<br><br>R3 着手 | R5～受援訓練の実施<br> |  |  |  |

凡例  
 整備の実施   
 運用の実施 

⑳ 職員の危機管理体制の強化

平時から全職員が防災体制について正しい知識を持ち、発災時に迅速で的確な行動がとれるよう、防災関係機関等への職員派遣、防災士資格取得の推進、防災研修、災害対応訓練を実施します。併せて、女性と男性が災害から受ける影響の違いに配慮し、女性の視点からの災害対応が進められるよう、女性を含めた防災担当職員の育成を図ります。

|                | R4<br>(2022)            | R5<br>(2023) | R6<br>(2024) | R7<br>(2025) | R8<br>(2026) |
|----------------|-------------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 職員研修による防災教育の実施 | 防災研修の実施                 |              |              |              |              |
| 職員の防災士取得の推進    | 職員の「ひょうご防災リーダー講座」への受講推進 |              |              |              |              |
| 災害対応訓練の実施      | 災害対策本部設置・運営訓練の実施        |              |              |              |              |

凡例  
 整備の実施：    
 運用の実施： 